

ハंक・ジョーンズ、ジミー・コブ、フランク・ウェスなど錚々たるレジェンドから認められ、ロイ・ハーグローヴ・クインテットでは日本人初にして最後のレギュラー・メンバーを務め、現在はジェフ・ハミルトン・トリオのレギュラーピアニストとしても活躍する、海野雅威。イマジネーション溢れるピアノ独奏と、「お互いに高め合える仲間であり、可能性を感じる」新生トリオによる、札幌・初披露スペシャル！



Photo: © John Abbott

TADATAKA
UNNO

海野雅威 (Piano, Composition)

1980年 東京都出身。4歳でピアノを始め、9歳からジャズピアノに親しむ。東京藝大在学中の18歳でプロとして活動を開始し、2008年にニューヨークへ移住。ゼロからのスタートにも関わらず現地で高く評価され、ハंक・ジョーンズやジミー・コブなどジャズ・レジェンドたちに愛される存在となる。ロイ・ハーグローヴ・クインテットでは、日本人初にして最後のレギュラーピアニストを務めた。2020年9月、アジア人ヘイトクライムの被害に遭い重傷を負う。そのニュースはアメリカCBSや日本の主要メディアで広く報じられ、ジャズ界は大きな衝撃を受けた。復帰は絶望視されたが、不屈の精神と懸命なリハビリにより奇跡的に復帰を果たす。その歩みは、2021年放送のNHKスペシャル「この素晴らしき世界へ分断と闘ったジャズの聖地～」で特集され、同番組は国際エミー賞にノミネート。同時期の日本ツアーは各地で復帰を祝う声に包まれた。星野源の「オールナイトニッポン」や日本テレビ「スッキリ」などにもゲスト出演し、大きな反響を呼んだ。復帰作『Get My Mojo Back』は、故・坂本龍一氏が「過酷な状況乗り越え、真に演奏する喜びに溢れている」と称賛。ジャンルを超えて支持を集め、2022年国内ジャズアルバム売上1位を記録。ミュージック・ペンクラブ最優秀作品賞、日本ジャズ音楽協会奨励賞を受賞した。続く『I Am, Because You Are』は、ジャズの聖地ヴァン・ゲルダー・スタジオで録音され、ヴァーヴ・レーベルからリリースされた。2025年からは、ジェフ・ハミルトン率いるジェフ・ハミルトン・トリオのレギュラーピアニストに抜擢され、アメリカ全土を中心にツアーを展開中。ジャズの聖地アメリカで、いかなる学校の教えにも頼らず、音楽の魂を体現し、レジェンドたちに切望され揺るぎなく信頼される姿は、ジャズの魂を継承し未来を切り拓く旗手として、世界のジャズシーンにおいても唯一無二の存在。真にジャズの未来を背負い、魂を揺さぶるピアニストである。伝統と革新を併せ持つそのスタイルは、世代や国境を越えて多くのオーディエンスを魅了している。

公式サイト www.tadatakaunno.com



KUNPEI
NAKABAYASHI

中林薫平 (Bass)

1981年生まれ。高校入学と同時に甲南高校バスアンサンブル部に入学し、ウッドベースを始める。2005年に活動の拠点を東京に移す。山口真文バンド、佐山雅弘トリオ、鈴木勲「OMA SOUND」、市原ひかりGroup、古谷淳トリオ、清水絵理子トリオ、「Megapteras」、黒田卓也「aTak」、広瀬未来クインテット、加藤マーサトリオ等でプレイする。2008年に自己のカルテットを結成し、ミニアルバム「Graffiti」をリリース。2012年には全てオリジナル曲によるセカンドアルバム「The Times」をリリース。2012Jazz page人気投票においてベストインストアルバム部門で1位を獲得。同時に同サイト上で2012ジャズマンオブザイヤーを獲得する。2022年10人編成の中林薫平オーケストラを立ち上げ、アルバム「circles」をリリース。2023年には中林薫平オーケストラ2ndアルバム「Live at COTTON CLUB」をリリース。ジャズだけでなくポップスのサポート、海外からのミュージシャンのサポート、国内外の音楽イベントやジャズフェスティバルへの出演など活動は多岐にわたる。



HIROKI
KITAZAWA

北澤大樹 (Drums)

ジャズドラマー。University of North Texasジャズ学科を成績優秀者として卒業。University of Northern Coloradoではジャズ学科修士課程を首席で修了。18歳で渡米し、主にカリフォルニア、テキサス、コロラドの音楽シーンで活躍。師事したアーティストは、Dean Koba、Jeff HamiltonやEd Soph、Jim Whiteなど。在学中から10年以上全米で活動し、参加した仕事はテレビ局の番組や州のイベント、シンポジウムなど多岐にわたる。共演したアーティストは、Vince Mendoza、Greg Gisbert、Alex Sipiagin等。帰国後はCharito、木住野佳子、五十嵐一生などのサポートを行う傍ら、国内の活動だけではなく2023年には台湾で5回ツアーを行うなど、アジアで顕著な存在として活動している。